

バージョンアップガイド

[2026の新機能]

2026 年 7 月リリース版

目次

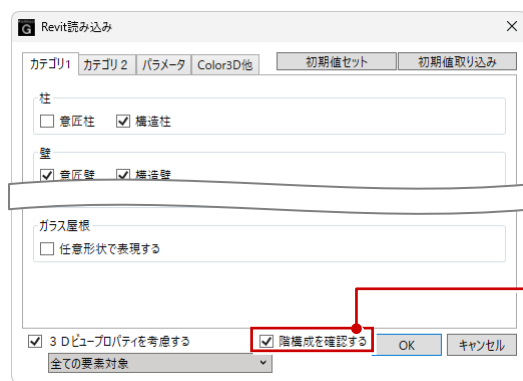
GLOOBE 2026 Architect の新機能 2026年7月リリース版

連携強化	3
外部参照改良	3
BuddyBoard連携	4
パフォーマンスアップ	5
部品稜線の削減	5
立面・断面図の作図効率化	5
確認申請	6
BIM図面審査誓約書チェックリスト	6
チェックリスト Excel出力	6
要素間寸法線	7
法改正対応	7
既存改良	8
躯体強化（フカシ）	8
杭の立体形状改良	8
折板・瓦棒屋根割付の改良	9
躯体寸法のタイプ拡充	9

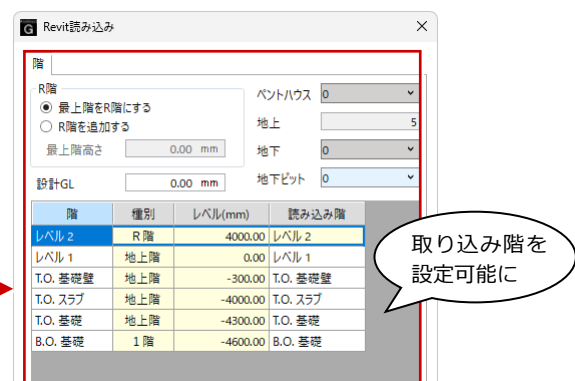
連携強化

外部参照改良

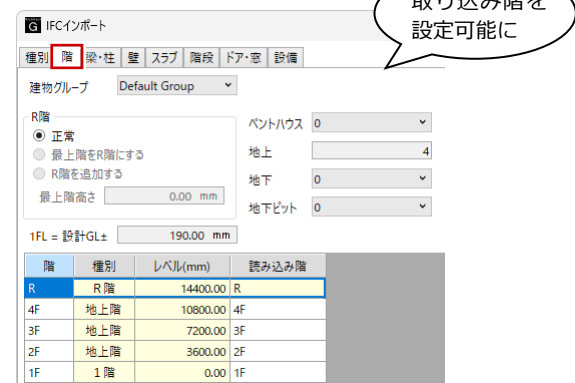
IFC、ST-Bridge、Revit ファイルをそのまま参照可能になりました。取り込み階も設定可能になりました。



【 外部参照で Revit ファイルを読み込んだ場合 】



【 外部参照で IFC ファイルを読み込んだ場合 】

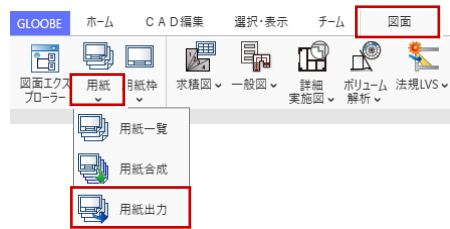


また、Revit 読み込み、IFC 読み込み、ST-Bridge 読み込み時に、外部参照データとしての読み込みに対応しました。実運用に即した参照モデルの統合が可能になります。



BuddyBoard 連携

図面作成ステージの用紙出力画面から、用紙を図面ナレッジプラットフォーム"BuddyBoard"にアップロードできるようになりました。GLOOBE で作成した図面を、BuddyBoard 上で共有できます。



【図面作成・シート】

BuddyBoard へ
シームレスに連携可能に



※『[BuddyBoard](#)』は株式会社 BuddyBoard の登録商標です。

パフォーマンスアップ

部品稜線の削減

特定のメーカーコンテンツにおいて、不要な部品稜線を省略しました。立体を見やすくするとともに、図面作成にかかる時間を削減しました。よりスムーズに図面作成が可能です。



【3D ビュー】

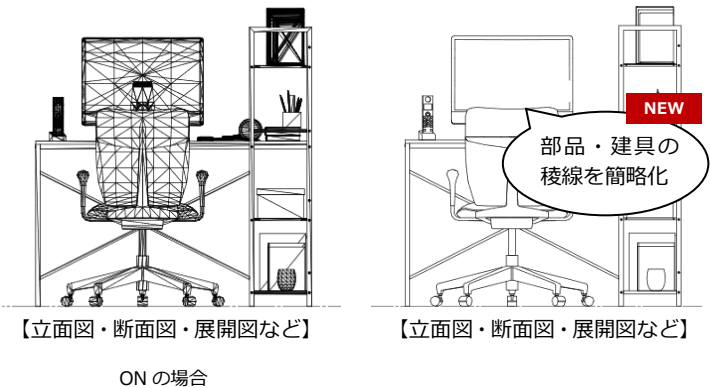


【3D ビュー】



※OFF での利用を推奨

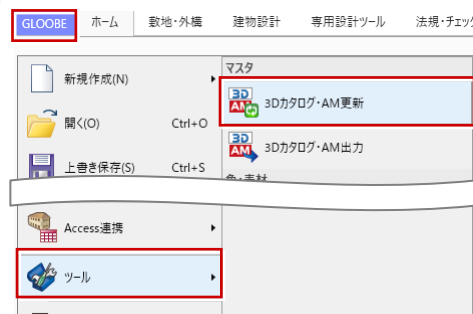
GLOOBE2025 以前に作成したデータに反映させるには「GLOOBE2025 以前の取込方法を使用する」チェックが OFF になっていることを確認し、「ツール」－「3D カタログ・AM 更新」コマンドを実行して更新してください。



【立面図・断面図・展開図など】

【立面図・断面図・展開図など】

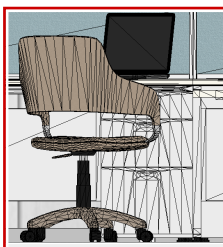
ON の場合



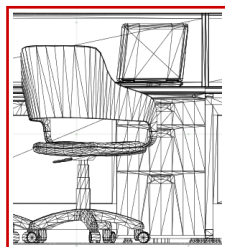
立面・断面系図面の作図効率化

同じ部品が同じ向きで配置されている場合、描画結果を再利用することで、描画を効率化しました。

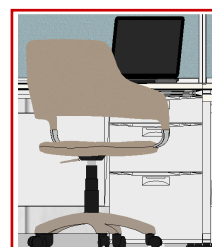
同じ部品が多数配置されている図面の作成時間が短くなります。※ 立面系、断面系など



【3D ビュー】



【断面図】

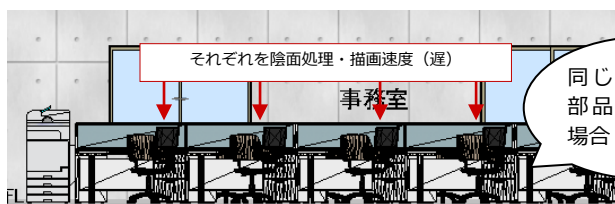


【3D ビュー】



【断面図】

NEW
描画速度の高速化を実現



【 GLOOBE 2025 】



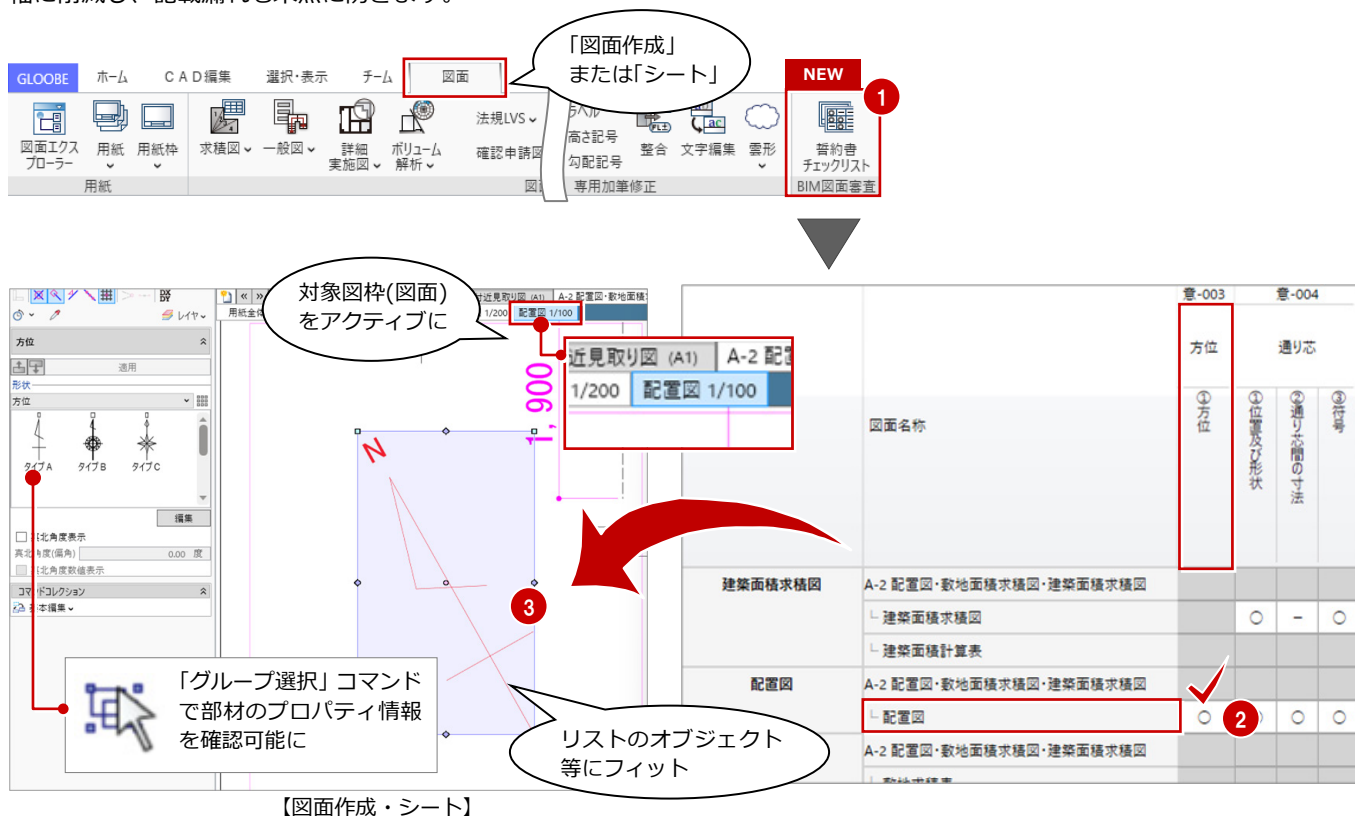
【 GLOOBE 2026 】

同じ向きの同じ部品が複数ある場合

確認申請 BIM 図面審査

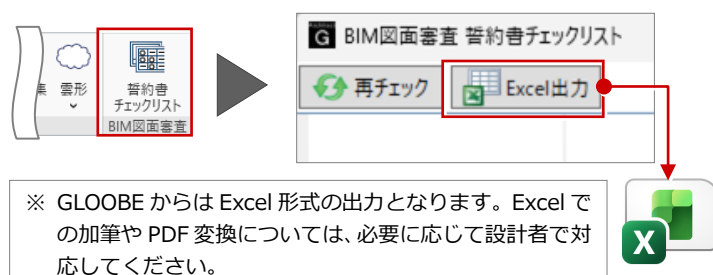
誓約書チェックリスト（2026 年 4 月版リリース機能）

2026 年 4 月施行の BIM 図面審査「入出力基準適合申告書」におけるチェックリスト（意匠分野）の自動作成機能を実現しました。GLOOBE Architect で設計した各オブジェクトや寸法などの BIM 情報から自動判定し、チェックリストを作成します。確認申請に必要な「明示すべき事項」の図示状況や根拠をワンタッチで確認でき、入出力基準との整合性を確認する手間を大幅に削減し、記載漏れも未然に防ぎます。



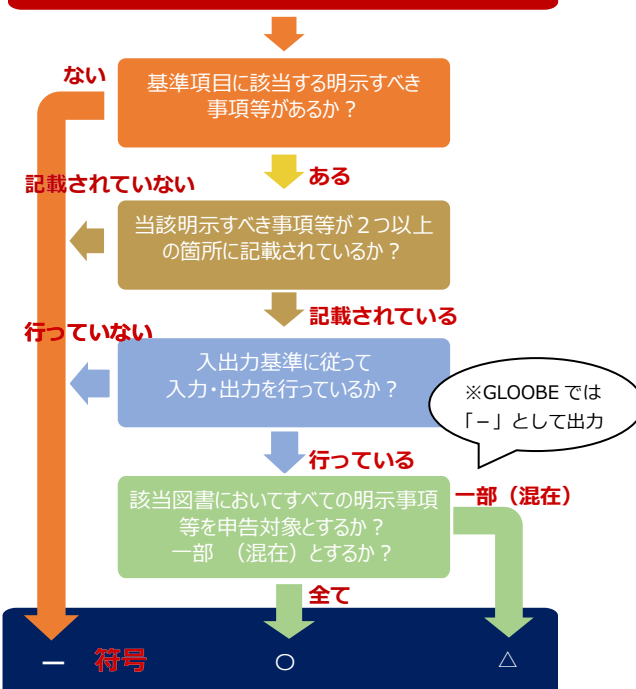
Excel 出力（2026 年 4 月版リリース機能）

誓約書チェックリストの Excel 出力に対応しました。出力したチェックリストは、設計者が BIM 図面審査の共通データ環境 (CDE) に PDF 等としてアップロードするなどして活用できます。



- ※ 「誓約書チェックリスト」コマンドの利用には、GLOOBE Architect 基本+法規チェックオプションが必要です。
- ※ 本機能では「BIM 図面審査における入出力基準適合誓約書」の一部として提出が必要な意匠分野（第二面）「チェックリスト」を作成します。構造分野（第三面）、機械設備分野（第四面）、電気設備分野（第五面）には未対応です。
- ※ 「BIM 図面審査における入出力基準適合誓約書」は GLOOBE から出力できません。「Excel 出力」したリストを「BIM 図面審査における入出力基準適合誓約書」の一部として提出して利用してください。

入出力基準の項目



※（参考）建築 BIM 推進会議 BIM 図面審査申請・審査マニュアル
【申告欄の記載フロー】

要素間寸法線

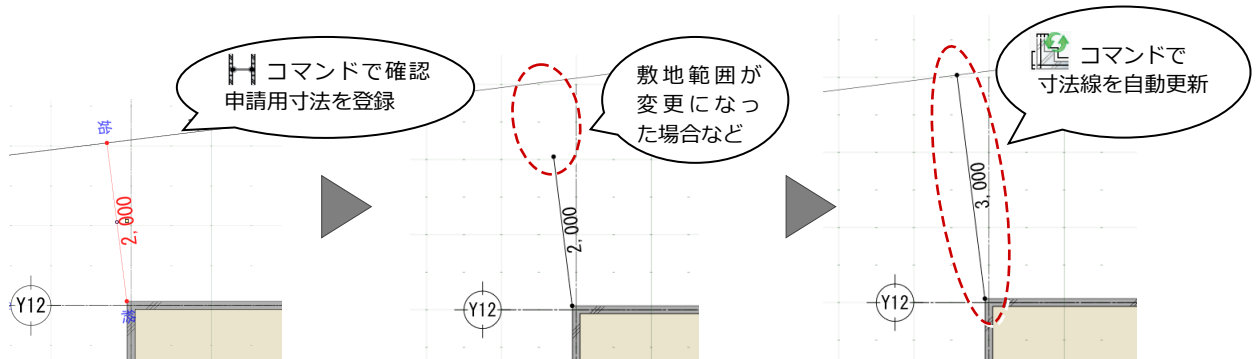
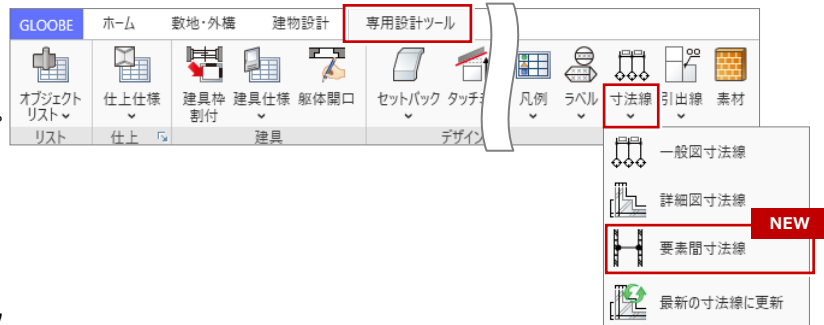
要素の移動・変形に追従する寸法線を入力します。

敷地境界・地盤 ～ 通り芯の距離

敷地境界・地盤 ～ 外壁面の距離

間仕切り壁 ～ 通り芯までの距離

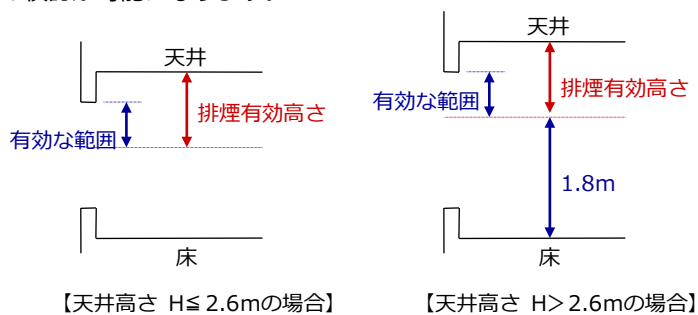
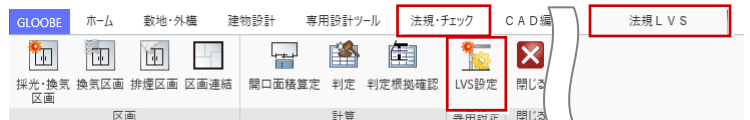
など BIM 図面審査の明示事項である「オブジェクトの移動に追従する寸法線」が入力できます。設計変更時にワンタッチで追従し、記載漏れの防止と作図効率向上に貢献します。



法改正対応

法規 LVS の排煙計算の際、排煙有効高さの設定を、2.6m 以下の場合と、2.6m を超える場合とで分けて設定できるようになりました。

2025 年 11 月 1 日に施行された施行令第 116 条の 2 第 1 項第二号の改正令に対応した、排煙の検討が可能になります。

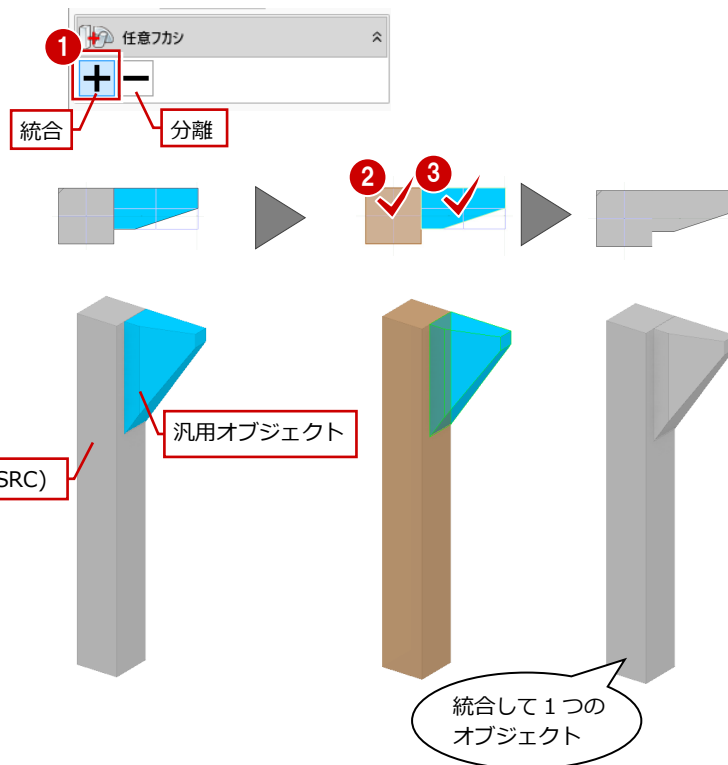


既存改良

躯体強化（フカシ）

汎用オブジェクトで作成した立体を、柱・壁・梁・スラブのフカシとして設定できるようになりました。複雑な形状でも正確な躯体モデルを作成できます。

また、「分離」を選択することで、統合したフカシを汎用オブジェクトに戻すことも可能です。

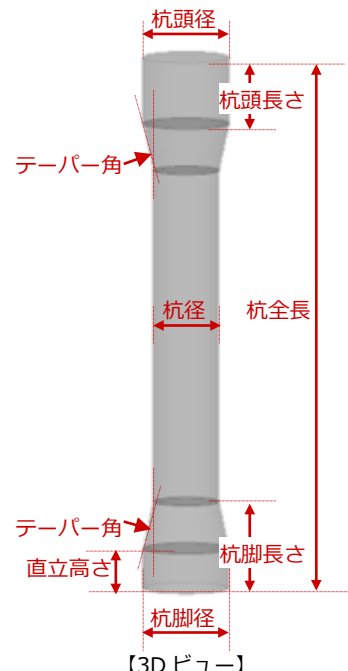


杭の立体形状改良

現場打ち杭の杭頭・杭脚形状が再現できるようになりました。プロパティで「テーパ角」「直立高さ」の設定に対応し、詳細な表現が可能になりました。



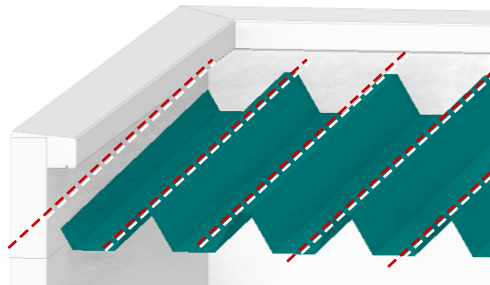
【杭プロパティ】



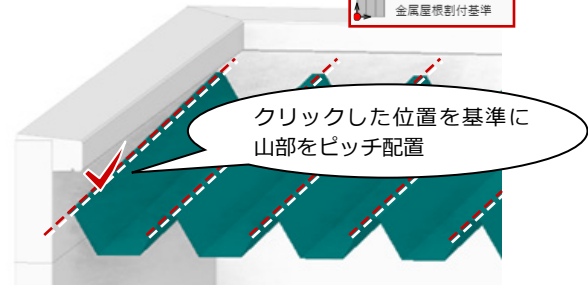
【3Dビュー】

折板・瓦棒屋根割付の改良

折板屋根や金属瓦棒屋根について、割付基準の変更に対応しました。



【基準 変更前】



【基準 変更後】

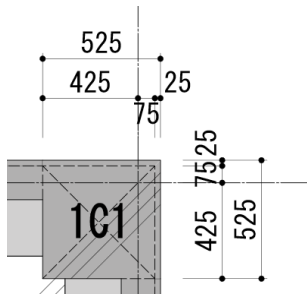


クリックした位置を基準に
山部をピッチ配置

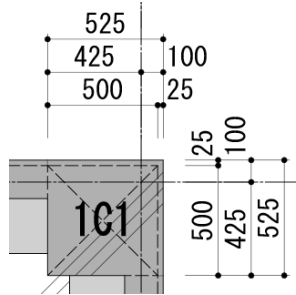
躯体寸法のタイプ拡充

躯体寸法において 3 段の表現に対応しました。フカシや断熱材などが含まれる場合などに有効となります。

「作図表現」において、段間隔の設定もおこなえます。(複数段の場合は等間隔)



【従来は 2 段まで】



【3 段まで設定可能】

※左図は Construction での例

